

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	1個別ケア ひとりひとりが歩んでこられた理解と共感に基づき、笑顔と役割を持ち続けられるように、自立支援を基盤としたケアを行います。
事業所名	小規模多機能 あつたかほーむ中込	管理者	中澤 綾子		2認知症ケア 認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、その人らしく安心して過ごせる居場所と関わりを提供します。 3看取りケア 穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちを迎えるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族に寄り添い支えます。 4地域ケア 住み慣れた地域で安心して最後まで生活が送れるように法人内外の組織住民の方々との連携を図り支援します。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	認知症実践者研修や介護福祉士資格取得に向け積極的に取り組んでいく。	コロナ禍ではあったが介護福祉士取得1名、受験予定1名認知症実践者研修1名と事業所スタッフ個人のスキルアップが出来た。	漫勉なく研修参加やスキルアップが出来るように会社からの支援もあればいい。資格取得がイコールその職員のモチベーションアップに繋がるとより良い。ケアプランを立てるときに現場職員も巻き込んで一緒に考える事でケアプランに対しての興味や理解が深まる。	現場職員とケアプランの作成を行い1人1人のゴールを把握する機会を持つ。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関先、施設内の環境に今後も配慮し、緑の絶やさない環境作りを行っていく。	玄関前の花の植え替えはコンスタントにできた。館内の緑も絶やさず、又緑以外の花も自宅や利用者様から頂いた物を飾ることが出来た。	今後も継続でお願いします。	玄関先、施設内の環境に今後も配慮し、緑の絶やさない環境作りを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域住民の方との交流を目的とした企画を計画していく。	コロナ禍の為、外部の方との交流は出来なかった。	地域としても今行っているのがサロンのみ。計画はするが施設のご利用者の方をお誘いしていいのかわからない。ご利用者の方が参加が難しくても職員が地域の会議などに参加して地域との関りを持っていかなければよい。	管理者や計画作成だけでなく現場職員も地域の会議などに参加し、地域との関りを持っていく

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源を利用した外出や活動を企画していく。	コロナ禍の為、施設外での活動は出来なかった。	コロナで施設外に出るのが難しい。事業所の立地的にも近くにコンビニがあったりする為必要はないかもしれないが移動販売車があったりする為利用者の買い物等に利用してはどうか。	パンの移動販売車やコンビニなど希望のある利用者様にも購入する機会を作っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	開催時は、職員や上司の参加も行い、現場からの意見なども直接聞いて頂ける場を設ける。	開催自体はあまり出来なかったが行った際には上司の参加が出来た。	今後も参加できるときは、現場職員や上司の参加をお願いします。	開催時は、職員や上司の参加も行い、現場からの意見なども直接聞いて頂ける場を設ける。
F. 事業所の防災・災害対策	炊き出し訓練を実施できるよう計画していく。	コロナ禍と言う事もあり、炊き出し訓練は出来なかった。	火事などの際に、地域住民の方の協力を得なければいけない可能性もある為避難訓練の際は区長や民生委員の参加を依頼してもいいのではないか。	区長や民生委員の方に、避難訓練の参加を依頼していく。